

(1) 類型別の方向性(素案)について

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・2100年には、日本の人口は6000万人になってしまうため、8000万人で止めましょうというような意見が諮問委員会から政府になされているような状況を受け、人口に対する考え方は計画内にどのように反映されますか。 ・また、能登の地震があり、本当に気の毒な状況ですが、土浦でもそういうことが起こる可能性もあるということも踏まえた検討は考えられているのでしょうか。	・様々な視点から進めていく上で、サービスの類型ごとに束ねて、その利用状況や稼働率などから導き出した今後の方向性を踏まえた上で、今度個別にこの施設、この地区はどうしていくかという議論を進めていく予定です。 ・人口の推移や耐震性の状況も踏まえて、本日示した類型別の方向性の素案に基づき、パターンを示した上でいろいろご意見をいただきながら個別の検討に入っていきたいと考えております。対市民のご理解という部分では、説明会も設けながら丁寧に進めていければと考えております。
2	・耐震性というのはしっかり見て欲しいということで、今回資料の方にも記載されてるんですが、「有」「無」はわかるのですが、「－」のところは、見方としては、確認してないということでしょうか。大変な作業になりますが、長期間の取り組みの中ではすべての施設について、もし、未確認があるのであれば、確認をするべきと考えます。 ・そして、市民の皆様に見せる時にも、いろんな論点・観点はあるんですが、その安全性という部分で、この施設がこういう状況ですよというのを知らせる必要があると思いますので、そこをさらに精緻に深く見ていただいて、市民の方に見せる資料にもそこを言っていただければいいと思いました。	・耐震性で「－」が入ってる部分については新耐震基準の建物であるという示しておりますが、少しわかりにくいため表記を改めます。 ○：新耐震基準の建物 有：旧耐震基準で耐震性有り又は耐震補強実施済み 無：旧耐震基準で耐震性無し又は耐震診断未実施 ・地震など災害での安全性確保を最優先と考えておりますので、対市民の説明では、今いただいたご意見も踏まえて、この施設はこういう状況ということで、丁寧にご案内していければと思います。
3	・中学校区に限って考えないといけないということではないんですが、地域の人口が将来、このような人口になる可能性がありますよという、年代の色合いがある程度見えることによって、市民の皆様も統廃合とかいろいろそういうものの納得がいくのではないかと思います。	・今後検討してしていく中で、中学校区にとらわれない視点も、おそらく施設によっては出てくるかと思います。また、地区での検討の場合には、その地区にお住まいの方に今後の人口の推移ですとか、現状の地区内の施設の状況を丁寧に説明した上でご意見を頂戴していければ

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
	います。 - 男女共同参画センターが非常に稼働率が低いというようなことが書いてあるんですが、そもそも男女共同参画センターを、どのように位置付けていけばいいのでしょうか。 - 学校での部活が移譲されるということにはなるんだという話を聞いてるんですが、それに対して民間にお願いするっていうところになるのか、それともやはり土浦市そのものも、そういうところを活用をできるような、体制を整えていこうという考えなのか、そのあたりもお聞きしたい。	と考えております。 - 男女共同参画センターは、今回の種類の分類では、その利用状況から、集会施設としての用途で研修室が使われている状況がございましたので、そういった用途でくくらせていただいております。 - 部活動の件は、本市においても、中学生の部活動改革ということで、現在、国・県の方針のもとで、今年度から土日の部活動についての地域移行を始めたところです。今年から3年間かけまして、実証事業ということで取り組んでいるものでございます。 - 学校から切り離していくのであれば、公共施設の利用も増えていくといったこともあると思いますが、まだまだ受け皿の問題や、運営の仕方について課題がたくさんあるため、現在の段階では公共施設の利用が、今までより格段に増えていくというような見通しは、今のところまだ見えないところです。
4	- 利用率において、実感の利用率と書いてある利用率がちょっと違うところがあるようなお話があったが、利用者数の算定が令和2年から4年になっており、コロナの期間を含んでいるので、今の値に合っているかどうかはずれている可能性があるっていうことを言及しておく方がいいと思います。 - 基本的な資料の整理としてはとてもわかりやすくなってきたのと、類型別地区別で検討していきますとずっと言っていた、その内容をやっぱり目にできたことで、意味が大分わかってくるようになってきて、ただこれをどう分析するかが、来年以降のとても重要なところであるため、地区別の説明会の中	- ご指摘の通り、引用しているデータは、昨年度策定の再編・再配置計画の元データということで、令和2年度から4年度の平均値を提示させていただいておりますので、コロナ禍も含めるような数値になっている点を付記するような形で修正させていただければと思います。 - 今回お示ししたものをどのように分析し、こちらの会議でお諮りするのがいいのか内部でも検討しているような状況ですので、またご意見等を伺いながら資料を整えて、個別の検討に入っていくときに、なるべくわかりやすい、説明会でも使えるようなものがあれば、そういったのも視野に入れて、整えて参りたいと思います。

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
	で、今後の進め方を丁寧にお話いただくと良いのかなと思います。 - 人口割合のところを拝見していて、例えばつくば市とかと比べますと、土浦市の各地区の人口構成があまり変わらないのが土浦市の特徴だと思います。子供世帯、それから高齢者の率を見ると、すべての中学校区で、あまり大きな差がなく、現在は幼少人口が10%前後、高齢者率が30%前後で、それが将来、幼少人口が10%ぐらいで高齢者率が40%前後という形で各地区があまり変わっていないので、今後の地区別の施設の配置とか、必要数っていうのが、おそらくお隣のつくば市なんかよりはずっと検討がしやすいと思いますので、ぜひその観点で、今後の地区別の検討をしていただくといいなというふうに思いました。 - 施設ごとの圏域を一旦仮に5kmとか、3kmとか設定してらっしゃるんですけども、もう少し広いものもあったり、もうちょっと近くないとしんどいものがあったりすると思うので、その辺はぜひ今後市民の皆さんと議論の中で、どれぐらいの圏域を設定すべきなんだろうかみたいところを議論していただくといいのかなというふうに思いました。 - 今後の流れの中には、市民との対話もありますが、庁内の対話がどう進んでいくのかが一番実は難しくて大事だと思っています。今回集約・複合等を検討するという内容までは出てきていて、地区によっては、今まで合わせたことがなかったような施設を一緒にするような観点や、その検討が必要になってきますし、その方が地区にとっては良い施設配置になるかもしれないので、ぜひ庁内でどう議論するか、配置案をどう作っていくのかをご検討いただけるといいかなと思いました。	- ご指摘の通り、各地区年齢別人口がほぼ同じでそれが同じ割合で縮小していくということで、先々どう推移していくのかというのは、想像がしやすく、地区横並びで、それほど差異がないという部分もございますので、その視点を踏まえつつ、それぞれの地区の現在の施設の配置状況等も踏まえた検討をして参りたいと考えております。 - 今回の圏域の資料では、アンケート等でも車で利用の方がほとんどということで、そういった視点で身近な施設とか、市全体にサービス提供をするのはこのぐらいのエリアかなということで事務局で設定させていただいております。ただ、このアンケートの中でも少数ではありますが徒歩の方もいらっしゃいますので、その辺は施設や地区の状況に応じて検証して参りたいと考えております。 - 庁内での対話については、難しい部分もありますが、今回提示した部分でも、各所管課の意向も踏まえるようヒアリングを何度も行っており、方向性を示して動き出す場合についても、所管課と進捗管理等で協議を行うなど、密に連携を図って議論をしているような状況です。これらを踏まえた上で、内部会議でお示しして、そこで固まったものをまとめて、委員会で提示するというような流れでやっております。ただし、今後は複合化や集約化のような、部門を横断するような取り組みが多々出てくるかと思いま

第2回土浦市公共施設等再編・再配置計画策定委員会での主な意見について

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
		すので、いただいたご意見も踏まえて、より効果的な、内部のみならず、地区への説明の流れも意識して取り組んで参りたいと思います。
5	・この素案というのは、できればホームページ等で、なるべく早く市民全体にお示しするのがいいんじゃないかなと思います。そうすると、もしかすると説明会の方にも、普段の説明会より多くの方へ来ていただけるかもしれないので、ぜひご検討いただければと思います。	・これまで会議でお示ししている内容につきましては、ホームページでの公開のほか、広報紙等も使って、計画の詳細を二次元コードで見えるような形なるべく多くの方に見てもらおうと努めているところですので、今いただいたご意見に基づいて、こちらの類型別の方向性についても積極的に周知して参りたいと思います。
6	・周知方法で広報つちうらと市のホームページが書いてありますが、これ以外には周知の方法等は考えていないのでしょうか。例えば土浦市の公式 LINE ですとか、そういうのはないのでしょうか。 ・アンケートは締め切りが4月4日までで、市民説明会はそのあとに開催するという感じですが、何か市民説明会に行ってもらった人とかは、個別にアンケート答えていただけるような、周知方法をいろいろ広げたりとかをしてもいいのかなと思いました。	・今ご意見頂戴しているアンケートにつきましては、対象者の方向けのもので、そこまでの想定はしておりませんでしたが、市民全体に向けた説明会では、公式 LINE やホームページの方も活用して実施して参りたいと考えております。 ・今回のアンケートについては、年代別に無作為で抽出して特定の方にお送りするような形を想定しております。今後内容によっては、今ご意見いただいたような広く多くの方からというような場面も出てくるかもしれませんので、その際には今いただいたご意見を参考に実施させていただきたいと存じます。

(2) 先行10施設の具体的な取組方針について

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・今の閉館スケジュールの中で、上大津公民館の複合化ということになってますが、これは新たな土地を見つけるのか、それとも現在地の拡張をするのか、土地の問題が大きく左右するのかなと思います。	・上大津公民館は公民館でも一番古い建物ということで、早急に対応する必要があるという部分と、昨年度、上大津支所が閉所するという方向性を決定したことで、同じ地区内にあるということで、複合化というような視点での検討も進めていく予定です。整備の手法について、現在の土地で収まるかは、複合する機能によって、必要な面積とかも変わって参りますので、今後は複合の視点、どの程度の面積があれば収まるのかという部

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
	支所、今現在は神立にも支所がありますが、それと手野の支所を一緒にするっていうことは全然考えてはいないんですか。状況に応じてちょっと沖宿あたりの方は遠くなると思うんですけど。その辺の点もやっぱり考えていかないと、地域の方々に対しての、申し訳がつかないと考えます。	分で、今後、地元の方とのご意見もいただきながら、検討を進めていければという状況です。 おっしゃる通り五中地区には神立出張所と、上大津支所の2ヶ所ございます。圏域のカバー状況を示した資料もございますけれども、これらの類型別の視点に加え、神立と上大津の部分については、地区の視点も加えて今後個別で考えて参りたいと考えております。
2	- 今回の上大津の検討は、もともと上大津支所そのものがリスト10個に入っていたけれども、それを検討するときに地区で見ると、公民館が同じように検討のリストに入っているので複合化の話が出てきた、というまさに地区で検討していくときのモデルケースになるのかなと思っております。神立の話とかも、今個別でというご回答だったんですが、その検討プロセスが大事だと思っていて、地区の中で何があって、地区の中の施設配置として何が良いのだろうと議論した結果が今回この二つの複合化に至るみたいな、そこをきちんと議論を残しておいていただくと今後他の地区で検討する時、参考になるのかなと思いました。 - 同様に、児童発達支援センターの方で、こちらは逆に全域で一つしかない、場合によっては複数の施設で、市全域にサービスを提供するようなところをどう集約するのか、複合化するのかという検討のモデルケースだと思いますので、こちらはこちらで、全域のことを考えたときに何が適切かという議論の流れが個別に入ってしまうと、どの敷地っていうのが中心になってしまうと思うんですが、少し俯瞰した議論みたいなところもきちんと行っていたら、この後、待ち構えている178を検討していくときの手掛かりになるのかな、と思いました。	だんだん個別の検討内容が見えてきているような状況で、ご意見の通り上大津の二つの施設については地区での視点を踏まえて先ほどの神立の部分の検討も出てくるかと思えますし、療育支援センターの児童発達支援センターとしての集約化、という部分についてはこの市に一つしかないということで全域の状況も踏まえての検討ということで、おっしゃるような検討プロセスというのが非常に重要になってくるかと思えます。間違ってしまうと進まなくなってしまうという弊害も想定されますので、それは一步一步丁寧にあらゆる方面に対して働きかけて、これがモデルになってくるかと思えますので、それとしてふさわしいようなプロセスを考えながら進めて参りたいと思います。

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
3	支所と公民館の複合化という形で、本件はモデルケースだと思うんですけど、今デジタル化はこの行革も合わせて中で検討をやっているわけで、デジタル化が進めば支所の機能ってのは相当、無くなるっていうことで、上大津でそれができれば他の支所でも同様かと思いますが、その辺はデジタル化を市民に普及させて、支所の機能・負担を減らしていけるっていうことで、かなり進んでいるのでしょうか。	デジタル化の部分につきましてはマイナンバーカードを持っている方は、各種証明書は本庁に来なくても、最寄のコンビニエンスストアで取っていただけるので、件数が増加しているような状況でございます。また、全庁的なデジタル化という部分で、オンライン化が可能な手続き等については、積極的に当課の方から働きかけを行って、なるべくご苦労いただかなくて済むような方策もを講じているところでございますので、今後も市民の方の利用状況を検証した上で、こういった施設のあり方の方にもおそらく影響してくる部分がございますので、それも踏まえながら検討をしていきたいと考えております。
4	- 児童発達支援センターの候補地の考え方ということで、資料3-2では①～④の四つ要件が出されましたが、こう書くと、すべての条件を満たすというような感じになると思うんですが、もしかすると施設の性格によって、どれをすごく重要視するべきかってのは変わってくるのかなと思います。 - 例えば、ここの施設のように、市に一つしかない施設の場合は、中でも[②：位置]が重要視されるのかなという気もするし、一方で[①：広さ]は当然すべての敷地を選ぶときには必要なことだろうという気もするので、もしかすると、条件みたいなものにどういうものがあり、それでまた、施設特性、或いは機能別でも関係してくるかもしれませんが、それぞれの時に、どんな条件が特に重要視されるべきなんだろうかっていうことをもうちょっと一般的な条件として考える必要があると思います。	- 確かに横並びで①から④ということで条件を列記させていただいておりますが、今、おっしゃる通り、例えば[①：広さ]については最低限必要な条件という部分もあるかと思います。 - 現在利用されてる方が逆に利用しづらくなってしまうのは、なるべく防ぎたい部分でございます。また、[③：事業の横展開]のように、例えば、近隣に同じ年代のお子さんが通うような施設があれば、交流や連携もできるような可能性もあるかと思いますし、[④：費用]のように、整備するにはどうしてもお金がかかる部分がございますので、コストをなるべく抑えられるような部分ということで、こちらの4点、どこに重きを置くか所管の部署と調整しているところでです。 - 次回会議までには、今ご指摘受けた点がわかるような形で、比較しやすい、見てわかるような資料を整えたいと存じます。